



Amir Tsarfati

[ホロコーストの最中、神はどこにいたのか？]

まずはお祈りして、それから、この、とてもとても難しい話題に取り掛かりたいと思います。

天のお父様。感謝します。私たちは、痛み、悲しみを通してさえ、あなたの優しい御手を見る事が出来ます。お父様。感謝します。あなたにあっては、何一つ悪いことはなく、邪悪なものは一つもありません。実際に、あなたは悪を憎まれ、あなたの子どもたちには、ただ良いものだけを望んでおられます。目が見た事のないもの、耳が聞いたことのないもの、人の思いに浮かんだこともないようなものを、あなたは、あなたの子どもたちに用意しておられます。私たちには理解することも難しいほど素晴らしいものを。お父様。私たちは、これからこの世の闇の側面を見て、その根を理解してみます。あなたが、この全貌の中でどこにおられたのかを理解していこうと思います。どうか、私たちが理解できるように助けてください。あなたの御言葉の不思議を理解できるよう、心の目を開いてください。この全てを、イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

皆さん、アーメン！

明日はヤド・ヴァシェム（書記注：エルサレムにあるホロコースト記念館）を訪れます。はじめ私は、ここで撮影をしたかったのですが、神の御心ではなかったようです。私は、70~80年前の神の主権を語っておきながら、今それを受け入れないということは出来ません。ヤド・ヴァシェムでの、撮影許可が下りなかったので、ここで行くことにしました。でも実際には、世界中の様々な国で観ている人たちのためには、この方が良かったのです。少なくともアメリカの人にとっては真夜中になりますから、今の方が良い時間帯です。

という事で 今日の話は、私 個人にとっては、とても難しい内容です。なぜかという、私は「ホロコースト生存者」の孫で、私の母方の祖父母は、アウシュビッツの「死の強制収容所」を生き残り、非常に厳しい状況でイスラエルにたどり着きました。

祖父母は 追い払われてキプロス島に行き、そこの別の収容所で（私の）母が生まれ、それから、イスラエルにたどり着いたのです。イスラエルで、私の祖母は「イスラエル生まれの第一世代」を生みましたが、残念ながら彼（母の弟）は、エジプトとの消耗戦の最中 19 歳の誕生日に死亡しました。基本的にはエジプトがイスラエルの戦艦を撃沈し、彼はその中に乗っていたのです。

ですから ホロコーストの話は、この国ではほとんどの家庭にとって、とても繊細な話題です。世界中のユダヤ人のほとんどが、ホロコーストに何らかの関わりがあります。そしてこれは、ヨーロッパのユダヤ人の 3分の2 が大量虐殺され、残虐な殺され方をした、地球で歴史上記録されている最も巧妙な民族大虐殺です。

興味深いのは、非常に多くの人がホロコーストを否定している傍らで、実行犯は実際に彼らが行ったことを認めたのです。ドイツの国中に歴史的建造物や、記念碑があります。全ての場所でドイツ人たち自身が、自分たちがそれらを行ったと認めているのです。最大のホロコースト記念館の一つがベルリンにあって、私もそこを訪れた事がありますが、実際、そこは以前ヒトラーの要塞があった場所から 3分の距離です。

私はまたドイツ、ベルリンの郊外にあるヴァンゼーという美しい場所にも行ったことがあります。 皆さん、信じないかも知れませんが、そこは美しい湖のすぐ岸にある村で、1941年（書記注：正しくは1942年）昼食を食べながら、当時のドイツ政府関係者（書記注：ラインハルト・ハイドリッヒ、アドルフ・アイヒマン他、総勢15名）はこの「ユダヤ人問題の最終的解決」を決断したのです。昼食を食べながら15分で、彼らは600万人のユダヤ人の殺害を決断したのです。邪悪、純粋な悪です。

預言者ハバククが1章3節で、このように言っています。

3 **なぜ、あなたは私に、わざわざを見させ、労苦をながめておられるのですか。暴行と暴虐は私の前にあり、闘争があり、争いが起こっています。**

（ハバクク書 1:3）

私たちには、悪について問う権利があると思います。預言者が、神に問う権利があると感じていたのです。

「なぜ、私はこれらの事を目にしているのですか？」

「なぜ私たちは、こんなに多くの邪悪に 取り囲まれているのですか？」

「ものすごい痛みと、ものすごい不幸をもたらす悪を。」

今夜、私たちは 悪が存在する理由について、その核心に触れてゆきます。それがなければ、ナチスは80年近く前に彼らが行ったような事はしていませんから。

それから、ここにいる皆さんと、そちらでご覧になっている皆さんとに明確にしておきたいのは、イスラエルはエジプトから出て、国として生まれて以来 ずっと憎まれてきました。出エジプトの出来事を経て、私たちは初めて国家となったのです。それから私たちは撒き散らされ、ずっと国として行動していませんでした。彼らは自分たちの神を知らず、神の御言葉のような憲法を持たず、彼らは自分の故国に向かっていませんでした。実際、彼らはエジプトを出た後、エジプトに戻りたかったのです。しっかり根ざし、長い歴史のある国ではありませんでした。もちろん私たちは、アブラハムやイサクやヤコブの話を聞きますが、しかし、エジプトでの奴隷時代の後、あそこで400年間過ごした後、神が 彼らの嘆きを聞かれたのです。そして、定められた時に 神はモーセ を遣わされ、「パロに、わたしの民を行かせるように言え」と、モーセに明確に指導されました。

そして興味深いのは、皆さんご存知の通り、パロは心を頑なにします。（十の災いが下った後で）パロは言いました。「分かった。何でも好きなものを持って行きなさい。それから、あなた方の神に、私の為祈ってくれ。」しかしそれから、彼はまたしても 考えを変えて、彼らを殺そうとしました。

ところで、彼らは、何も悪い事をしていません。彼らは、パロの許可を得て去ったのです。エジプトを去った事で、彼らは咎められる筋合いはありません。これらすべての災いを終わらせるために、彼らを行かせた方が良く、とパロが決意したのです。しかしパロは、彼らを滅ぼし、殺すために、彼らの後を追いかけてきました。

皆さん、理解しておいてください。歴史を通して人々は、神に対して問題があると、彼らは神の民を追いかけます。後に、彼らは国として、アマレク人や、モアブ人、ペリシテ人から攻撃を受けます。このように、どんどん攻撃を受けますが、どの場合もイスラエルが何かをしたわけではありません。そして、この全ての場 面で、神はイスラエルが確かに生き残るようにされました。

バラムを思い出してください。あの魔術師です。まわりの者は、バラムのことを預言者と呼んでいましたが、彼は明らかに神の預言者ではありませんでした。しかし、バラム自身が言いました。

8 神がのろわない者を、私がどうしてのろえようか。

(民数記 23:8a)

「それは出来ない。申し訳ないが、私は彼らを祝福する。」
 「私が呪おうとすると、祝福が口から出るのだ。」と。

そして歴史を通して、イスラエルに対する憎しみは、常に次のことが基になっています。彼らには神がいて、その神が、私たちが苛立たせるのだ。いつも彼らを勝利させるから。彼らは、唯一の神を信仰している。我々は、多くの神々があると信じているのに。彼らの神は、目に見えない。我々の神々は、目に見えるのに。彼らには特別な日があって、その日彼らは何もしない。彼らには神殿があって、その中には、像が一つもない。彼らには異なる食べ物があって、特定の食物を食べることを許されていない。異なる格好をし、異なる祭りがある。

いつも問題は、彼らの周りで、彼らが異なるためです。そして多くの場合、問題は彼らの周りで、彼らが周辺の人たちよりも、上手くやっているためです。ですからこれは、肉でいえば、憎まれる正当な理由なのです。

ただ、古代の反ユダヤ主義との違いは何でしょうか？エジプトから、ずっと中世の時代、さらには 1900 年代でさえ、あの反ユダヤ主義と、突如、ヒトラーが浮上して、彼の本、彼のプロパガンダ映画、彼の教義との違いは何でしょうか。どうでしょうか？説明しましょう。

ヒトラーは、新しいことをもたらしました。新しい教義をもたらししたのです。彼の思想の中では、ユダヤ人は人間ではなく、人間以下でした。歴史を通して、彼らが人間かどうかを疑った人は、誰もいません。人々は、彼らが違っていたから彼らを嫌いました。しかし、人間かどうかの疑問は、そこにはありませんでした。ヒトラーは「彼らは、人間ですらない」と言いました。「彼らは、人間以下だ」と。

事実、ヒトラーは、国民啓蒙・宣伝省を創り、ヨーゼフ・ゲッベルスを、そのプロパガンダの省のトップに置きました。また彼は、フリッツ・ヒップラーを社長に任命して、帝国映画院 (Reichsfilmkammer) を設立、ユダヤ人の人間以下の特徴を描いた映画を制作しました。大きな鼻、長い指、最悪なのは、彼らは、常にユダヤ人をネズミのように描きました。いつもです。彼は、ネズミが走り回る短編の動画をいつも加えていました。事実、あるものを、皆さんにご覧いただきましょう。見えるかどうか分かりませんが。



1930 年代のナチスのプロパガンダ (左) と、
 2015 年 11 月のデイリーメールの風刺画 (右)

「Rotten」。Rotten とは、ネズミの意味で、とても興味深いのです。皆さんに、もう一枚写真をご覧いただきましょう。記事には、こう書かれています。「カーニバルの山車が取り上げているのは、笑っているユダヤ人の操り人形と、ネズミ、それと金袋。」では、ご覧いただき

皆さん、これは、ナチスの、ユダヤ人に関するプロパガンダです。半分ネズミで、半分人間。見えますか？
 半分ネズミで、半分人間。皆さん、これですよ。



ベルギーの反ユダヤ主義パレード

みましょう。見えますか？大きな鼻に、後ろにはネズミ、それから、金袋です。私は…皆さん、見えるでしょうか？私は、この場所を少し隠してみたのですが、ここが何処だか、当ててみてください。

ドイツ？これは何でしょう？ナチス？何でしょうか？これは昨日。これは昨日の、ベルギーでの出来事です。

(2019年3月4日) これは、カーニバルの山車で、ユネスコ(国連)が支援しているカーニバルです。これは70年前でも80年前でもなく、今週のヨーロッパでのことです。そして、皆が拍手を送りました。ドイツではありません。ヨーロッパ、ベルギーです。アールストという街で、私はそこに行ったことがあります。

これが、こんにちのヨーロッパです。

聖書は、これについて語っています。

事実、神に敵対する一番簡単な方法は、神の民を攻撃することです。実際、詩篇83篇を続けて読めば、これは、1948年の戦争で成就されていますが、その始まり方を見てください。こんな風に始まります。

- 1 神よ。沈黙を続けしないでください。黙っていないでください。神よ。じっとしていないでください。
- 2 今、あなたの敵どもが立ち騒ぎ、あなたを憎む者どもが頭をもたげています。
- 3 彼らは、あなたの民に対して 悪賢いばかりごとを 巡らし、あなたのかくまわれる者たちに悪だくみをしてしています。
- 4 彼らは言っています。「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。」

(詩篇 83:1-4)

これは、一般的な反ユダヤ主義の霊です。それから、もちろんこの詩篇が具体的な戦争となり、1948年アラブ諸国が我々を根絶しようとした。しかしこれは、同じ霊です。神を憎む者の霊、神の敵の霊。彼らは、神を見ることが出来ず、神と戦うことが出来ないから、彼らが追いかけるのは？神の民です。そして、神の民とは誰なのか？と問えば、ここで告げています。

「“イスラエル” の名がもはや覚えられないようにしましょう。」これが、彼らの求めている事です。



国家独立宣言する

だから、ダヴィド・ベン=グリオンが

「ここに、ユダヤ人の国家を創設することを宣言する。その名は、イスラエル国である。」と言った時、彼らは発狂したのです。彼らは、我々を抹消しようとし、我々の国を地上から消し去ろうとしたのです。イスラエルの民は生きています。私は、イスラエルの部族です。

ですから、理解しておいてください。ユダヤ人に対する憎しみは、大部分において、ユダヤ人には何の責任もありません。神が、ユダヤ人を保護する事に、それ以外の人たちは苛立ち、妬むのです。しかしながら、現実から隠れてはいけません。全てが美しく彩られているフリをしてはいけません。

もし、神が全てを統治しておられると、私たちが信じるなら、どうして神は、これを許されたのか？

神は、何処におられたのか？ここで、私たちは「ユダヤ人、非ユダヤ人の視点」でのみ考えるのを止めなければなりません。

では、一番初めに戻りましょう。創世記1章に戻りましょう。26節で、

26 神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように。」

(創世記 1:26)

まず第一に、神が『われわれ』という言葉が私は大好きです。複数形です。ヘブル語で、エロヒーム (אֱלֹהִים) という言葉は、神で、複数形です。アドナイ (אֲדֹנָי) は、複数形。エロヒムは、エロハの複数形で、アドナイは、アドニの複数形です。「アドニは私の主」アドナイは、その複数形。ですから、一番初めから、聖霊と、イエスは、創造主の側として、創造に関わっていたのです。分かりますか？彼らは、創造の行程の一員、創造主の一部だったのです。だから、こう言われたのです。

『われわれに似るように、われわれのかたちに、(われわれは)人を造ろう。』
人というのは、他のどの被造物とも違って、唯一、神に似せて、神のかたちに創られたのです。

そこで、皆さんにお尋ねしますが、神とは何ですか？聖書は言います。神は？——愛です。

神が、私たちの上に掲げておられるものは？——愛。

どうして聖書は、神は愛である。と告げているのだと思いますか？愛は、神なしには存在し得ないのです。

それを証明する事が出来ますよ。聖書は、すでに創世記 6 章で告げています。

5 …その(人の心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾く…

(創世記 6:5)

そこに愛はありませんでした。そして、愛というのは、自由意志が与えられて、初めて可能になるものです。

例えば、結婚して夫や妻をお持ちの方、もしくは、お子さんをお持ちのお父さん、お母さん、彼らが、あなたのことを愛しているとどうして分かりますか？もし、彼らが、

「アイラブユー、アイラブユー、アイラブユー」

と言うように組み込まれていたらどうですか？これを本当の愛だと考えますか？もちろん思いません。

でも、突然、何処からともなく、小さな息子さんが、言うのです。

「ママ。アイラブユー！」

それは愛ですよ。誰かが、無理やり言わせたのではなく、その子の自由意志で、本当の愛の真髓の表れです。

そして神は、私たちが彼に似るように、彼のかたちに創られたのです。

もし、神が愛であるなら、私たちが、神に愛を示すには、自由意志が、そのカギとなるのです。

そうでなければ、神はロボットを創られたでしょう。神は、私たちが唯一、愛だけを選ぶように、プログラムされませんでした。第一、それは、愛ではありませんから。だから神は言われたのです。

「いいかい。あなた方には、自由意志がある。しかし、自由意志とは何を選ぶかが重要なのだ。そして言うておくが、あなたがたは、選択を迫られる時が来る。だから、こちらを選んだときの結果と、こちらを選んだ時の結果を、あなたがたに伝えておこう。最終的には、あなたの選択だ。」

そして私たちは、彼らが何を選んだかを知っています。それから興味深いのが、聖書は、世の支配者について告げていて、あの瞬間から、それはサタンです。

それから興味深いのがよく考えてみると、サタンが反逆し始めた瞬間、サタンは、人が創られる前に反逆を始めたのをご存知ですか？天で反逆があって、それから地上での反逆です。

そして、ある意味、反逆がサタンと結びついて、彼が、世を支配するようになりました。

ヨハネ 12:31 には、こうあります。

31 **今がこの世のさばきです。今、この世を支配する者は追い出されるのです。**

(ヨハネ 12:31)

ヨハネ 14:30 には、こうあります。

30 **わたしは、もう、あなたがたに多くは話すまい。この世を支配する者が来るからです。彼はわたしに
対して何もすることはできません。**

(ヨハネ 14:30)

ヨハネ 16:11 には、こうあります。

11 **さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。**

(ヨハネ 16:11)

素晴らしい福音書の一つでヨハネは、ギリシャ語の「コスモス」(Κόσμος)という言葉を使っています。この「コスモス」という言葉は、神から引き離された人間社会、神の御心と共鳴しない、その行動を示すものです。神は、この邪悪さや、邪悪な世はお造りになっていません。

19 **全世界は、悪い者の支配下にあることを知っています。**

(第一ヨハネ 5:19 新改訳 1970 年版)

12 **…主権、力、この暗やみの世界(κοσμοκρατορας)の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪
霊に対するものです。**

(エペソ 6:12)

私は今、「主の日」のメッセージを用意しているのですが、とても興味深いのです。

聖書は、神が「主の日」に裁かれる事について語っていて、それはまず、天のサタンの軍勢、それから、自分たちの意思を行なっている地上の人々に対してです。非常に興味深いです。

アダムとエバが置かれた場所は、実際、死の危険とペアになっているところでした。しかし彼らは、自由意思の中で、その実を食べる事を選んだのです。自由意志です。

彼らは、食べるな、と警告されていました。彼らは、その結果起こる事も告げられていました。

それでも、彼らはそう決めたのです。

聖書には、ローマ 5:12 にこうあります。

12 **そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり…**

私が「死」を言及するのは、神は、いかなる死も、世にもたらす事を、意図されなかったからです。

…こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというのも全人類が罪を犯したからです。

(ローマ 5:12)

「全人類が罪を犯した」と皆さんで言ってください。——「全人類が罪を犯した」

それから私は、あえて、ここからもう、ユダヤ人、異邦人については、お話ししません。

なぜかと言うと、ホロコーストについてお話しした時に、悪がある事を、もうすでに理解していますから。

それから、なぜ、彼らがイスラエルに敵対し、ユダヤ人に敵対するのも理解しました。

そしてその悪は、どこから来たのか？それも、分かりました。

そこで、多くの人が問うている疑問は、どうして神は、悪を許されるのか？これは、良い質問です。悪は、どこから来るのか？どうして悪が存在するのか？そして神は、悪に対してどのように対応されるのか？これはとても興味深い事です。

まず第一に、悪は、神と神の律法に対する不従順の結果の現れです。人が、従わないと決めた時、そこから悪が始まります。それは、いたるところに見られます。

第二ペテロ 2:4

サタンは、創造の前に反逆しました。

創世記 3:1-7

アダムとエバは、エデンの園で反抗しました。

ローマ書 5:12

アダム以来、全ての人がこのように、天で始まり、それが地上に降りて来て、ウィルスのように、全ての人に広がったのです。

だから、ナザレで話をしたように、イエスは、人の種から生まれてはいけなかったのです。さもないと、彼の中にすでに罪を持ってしまいます。しかし、彼には、罪があつてはいけません。悪は、初めから存在します。そして残念ながら、皆さんに悪い知らせです。それは、最後の最後まで存在します。

そのために、神は、新しい天と新しい地を創り、新しいエルサレムをもたらさなければならないのです。そうして全てが新しくなります。ところで、全てのものが、創世記の最初の2章に回復されるのです。なぜなら、創世記最初の2章には、神殿がありませんでしたから。必要がなかったのです。神が、そこにおられたから。他の多くのものも、必要がありませんでした。神は、それを回復されます。そして、創世記1章1節でこの世に、光がありましたが、神が、太陽と月、星々を創られたのは、4日目です。世の光とは、誰ですか？イエシュア、イエスです。そして、確かに聖書は黙示録21章で、告げています。

23 **都には、これを照らす太陽も月もない。というのは、神の栄光が都を照らし、小羊（イエス）が都のあかり（メノーラー）だからである。**

(黙示録 21:23)

素晴らしい。さて、今日の悪は、道徳どうとくと、そしてまた、自然です。皆さん、理解しておいてください。ただの道徳ではありません。暴力、不品行、憎しみがこの世にはあります。そしてそれは、愛することと神に従う事を望まない人間の意志が原因です。隣人を、自分自身のように愛する事をしない。

これは、福音の全真髄です。

『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』

(マタイ 22:37、申命記 6:5)

『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』

(マタイ 22:39、レビ記 19:18)

『愛』です。繰り返しますが、愛が、神の真髄で、神は愛、自由意志がなければ、愛は存在し得ないのです。言い換えれば、悪は入り込むための切符を持っているのです。そしてもし、あなたが、神が、悪を根絶する事を望み、悪が入り込む事を許さなければ、神も、悪が入ることを許されません。

皆さん、無知や貧困は、罪の結果であって、それが罪の原因ではありません。それを理解しなければなりません。

皆、罪を、無知や貧困のせいにしてますが、しかし現実には、それが罪の原因ではありません。

それは、罪の結果です。と言っても、私は、貧しい人が罪びとで、裕福な人は、罪人ではないと言っているのではありません。そうでなく、私が言っているのは、貧困の真髄、病の真髄は、どんな形であれ、形態であれ——、ところで、前回私が調べた時には、アップルの創始者、スティーブ・ジョブズは、億万長者でしたが、それでも彼は病気で死にました。貧困や病は、必ずしも付随ふずいするとは限りません。無知は、言うまでもありません。全ての犯罪、全ての家庭崩壊、全ての精神的、または身体的な虐待の原因は何ですか？

プライド、欲望、自己中心、怒り。一言で言うなら？——「罪」その通り。

私はそれについて、繰り返し、繰り返し言います。問題を、罪と切り離すことは出来ませんから。

ホロコーストでさえ、そうです。これがとんでもないのは、全てのことが、その犯罪者か被害者のどちらかで、常に、それには両局面あって、一つは有罪、他方は被害者。

こんな言葉があります。

「傷ついている人は、人を傷つける」

23 罪から来る報酬は死です。

(ローマ書 6:23a)

罪は、悪の根源で、罪から来る報酬は死。

ところで、死は、葬式によってのみ表明されるのでなく、悪によって表明されるのです。驚きです。

私は、ヘンリー・モリス博士の著書を持っていますが、何度も何度も掘り起こす必要がありました。その彼の著書の中で、彼が基本的に言っているのは、アダムとエバが、エデンの園で失敗した後、まず、最初に見られるのは、神との関係の崩壊。それから、社会的な崩壊。そのため、アダムとエバが、恥を感じるようになりました。それから、直後にカインによる殺人がありました。しかし、また、彼はある事に言及しているのです。私は、これについては、一度も考えた事がないと思います。彼は、生態的な崩壊があったと言及しています。出産が困難であるとか、元々はそうではなかったのです。生きるために、地を耕すとか。歴史上最大の自然災害まで。つまり？——洪水です。皆さん、ご存知かどうか分かりませんが、その前は、雨が降ったことがなかったのです。

皆、ノアを見て思ったのです。

「方舟を作るだと？」 「洪水って、どういう事だ？」

「地下に泉があって、霧が植物を生やしているじゃないか。」

「それだけだ。」

「雨なんか、見たことがない！」

「洪水?!」

科学者たちは・・・彼の本の中に書かれていますが、「The Genesis Record」というタイトルです。

科学者たちは、惑星が水で覆われるとどうなるのかを調べてみたのだそうです。結果は、どうだったと思いますか？彼らが至った結論は、

「どの惑星であれ、水で覆われると、やがて2つの凍結した極地が出来る。」

わお！それから、彼らは言います。あの、地下の泉から地を潤わせていた霧の覆いの溶解が、新しいバクテリアの侵入を招き、その結果、人や獣、植物に病をもたらしたのだ、と。あれ以来、自然界のアンバランスが、自然大災害をもたらしたのです。地球温暖化！

皆が、私たちに何かが出来ると思っています。私たちは、自分が神のように偉大だと思っていて、5万人を解雇し、多くの支店を閉鎖すれば、私たちは、地球の温度を0.5度下げられると思っています。デタラメも、いいところです。それだけではありません。昨日読みましたが、イギリスで、女性の集団が、一新しい集団です——それが、子どもを世に産み出さないことを決めたそうです。気候変動に抗議するために。分かりますか？あなたは、罪びとで、罪が、自然大災害をもたらしたのです。

それなのに、あなたは言っている。

「私は、この邪悪な世に子どもを生み出すことを拒絶する！」

邪悪の根源を考えた事はありますか？それから、それに対する解決策があることを知らないのですか？とても興味深いのは、人の罪深さが、洪水をもたらし、その洪水が、今日こんにちの私たちの欠陥だらけの惑星をもたらしたのです。とてもシンプルです。そこで疑問は、なぜ、神は悪の存在を認められるのか？

これは、フェアな質問ではありませんよ？考えてみてください。誰が悪を持ち込んだのですか？

私たちです。つまり、私たちが間違った選択をしたのです。今でも、私たちはしてしまいます。

私たちが、あまりにも多くの悪をもたらし、そして、私たちは言うのです。

「どうして、あんな事を許されるのですか？」

そして興味深いのは、また自由意志に戻りますが、——それから、また、繰り返しますが、自由意志がなければ、私たちは神のかたちではありません。人を、神のかたちにする、唯一のものは、自由意志がある事です。神は、私たちを神のかたちに、神に似せて創られたのです。そして私たちに、自由意志があります。もし、神が、私たちに自由意志をお与えになっていなければ、私たちは？ロボット、ミニオンズ(アニメ映画のキャラクター)、他の何かであって、人間ではありません。ところで、今は皆、ロボットの方を好んでいますよ。なんでも言うことを聞きますから。あの、気を悪くされたら、ごめんなさい。多分私は、いつも誰かの気分を害していると思いますが。

お許してください。でも、多くの方が、人間よりも動物の方を好みます。命令出来るから。

そこに自由意志はありません。しかし人は、自分の意思で、自由に、神をたたえることが出来なければなりません。そのように、神がお創りになったのです。自分の意思で、自由に神をほめたたえるように。

そのためには、自由意志が必要なのです。なぜなら、自分の意思で自由にとというのが、自由意志ですから。

ところで、被造物の中で、交流出来るのは、人間だけです。唯一、人間だけ。

興味深いのは、神が、コミュニケーションする事が出来たから、人も、コミュニケーションが出来るのです。犬は、神と話をしません。この間、私は調べましたが。中には、

「自分の犬は祈りますよ。」

という人がいることは知っていますよ。彼らは、そう見えています。

それでも構いません。ただ、聖書は、そうとは言っていません。

人は、美そのものに感謝することが出来るのです。人には、自由意志の力が与えられていて、それがなければ、人は、神のかたちではありません。人には、悪や苦しみなしに、神と完璧に協調する力があります。

その力を持つ事が出来たのです。神は、そのように創られたのです。

私たちの体の全細胞、私たちの全ての知能、私たちが創られた全ては、この欠陥だらけの惑星で、生き続けるように創られていないのです。だから、私たちは死ぬのです。死は、体が自然な形で告げているのです。

「この状態で、ずっと生きることが出来ない。」

私たちは、この条件の中でずっと生き続けるようには、創られていませんから。神は、別のことを意図して創りましたが、人は違う方を選びました。人は、神に逆らい、悪と苦しみをこの世にもたらず方を選びました。神は、悪や苦しみのない世界で生きるチャンスをお与えになったのです。しかし、人は選びました。

「結構です。そのお考えは、内に収めてください。ここには、それを食べても私たちは死なないと、私たちに語りかける方がいますから、私たちは、彼を信じます。」

皆さん、ご存知かどうか分かりませんが、ニューエイジのカルトの多くが、ルシファーが光をもたらしたのだと言っています。彼が光をもたらす者だ、と。だから、彼らは自身を「イルミナティー」と呼ぶのです。「イルミナティー」とは「啓蒙された者」という意味、「彼らは、光を見た」と。と言っても、その光は、神のひかりではなく、ルシファーの光ですよ？ちなみに、彼らがそう言っているのです。彼らに聞けば、そう言いますよ。彼らは、創世記の話の中で、サタンが良い者で、神が悪者だと信じているのです。では、そもそも神は、どうして人間をお創りになったのか？神は全てをご存知です。神は、ともかく人をお創りになりました。それは、創らないより良いからです。その事を、神に感謝しましょう。

考えてみてください。皆さんは、お子さんのことや、ご家族、またはご両親のことで問題を抱えておられるかも知れませんが、それでも、その事を神に感謝しましょう。

考えてみてください。彼は神であられ、間違いを犯すことはありません。その上で、神は人を創る事を選ばれたのです。つまりそれは、正しい選択だったという意味です。神は、私たちが創らない事も出来ました。「創らない！」と言うことも出来ました。しかし、神は創られたのです。神は、私たちの能力を知った上で、お創りになったのです。では、神は、悪をどう対処されるか？

まず第一に、私が信じているのは…聖書には、神がご介入されなければ、とっくの昔に私たちが自滅していた例が、たくさん書かれています。神は、悪を制限されます。正直に認めましょう。神は、人の寿命を制限されます。悪を行う者、それに苦しむ者、両方とも。

次に、人は素晴らしい事を行う能力があります。私たちは、まだ、笑顔になれることがらを見つけることが出来ます。私たちに、それを行う力があるのです。サタンは、絶対にあなたに、笑顔になったり、喜んだりさせたくないのです。サタンとは？あなたの喜びを盗みます。彼は、あなたに喜びを与えません。しかし、神は、喜びを与えてくださいます。また、神は、人に知識を提供されます。そう思いませんか？

今日、私たちは病と闘うことが出来、苦しみを逃れ、問題を解決する事が出来ます。それらは、罪によってもたらされたものです。私達は、それをする事によって、創世記 1:27 を成就させています。地を従える。しかし私が思うに、人が葛藤することの一つは、神が、「悪」を使って、「善」について人に学ばせる事ではないでしょうか。

ヨブを覚えていますか？

彼は、自然災害と道徳的な悪、両方の被害者でした。しかし彼は、悪を用いて、神の子どもを成熟させることの例であり、彼の苦しみが、宇宙を支配しておられる神を信頼する事を彼に教えました。

私たちは、度々、自分たちの方が上手く出来ると考えます。

私たちは、どん底に落ちてようやく、頭を上げて言います。

「分かりました。あなたが支配してください。」

第二コリント 12 章

- 7 また、その啓示があまりにもすばらしいからです。そのために私は、高ぶることのないようにと、肉体に一つのとげを与えられました。それは私が高ぶることのないように、私を打つための、サタンの使いです。
- 8 このことについては、これを私から去らせてくださるようにと、三度も主に願いました。
- 10 ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。」

(第二コリント 12:7-8、12:10)

「私が弱いときにこそ、私は強い」それは、私ではなく、主が私の力だから。そして、私が完璧ではない時、主が、私を完成させてくださる事を、私は知っている。興味深いです。ヤコブ 1:2 は告げています。

- 2 私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。

(ヤコブ 1:2)

つまり、試練や悪いことを、私たちは、喜びと思うのです。そこから私たちは、多くのことを学びますから。

もう一つ、皆さんに思い出して欲しいことがあります。それから、ホロコーストの話に戻ります。

神は、悪が存在することを認められますが、それが勝つことは許されません。神は、悪の問題に、ただ一度だけ応えられました。何を通して？——神の御子、イエス・キリストによって。

彼が、これをされたのは、全ての罪の代価を払うため、全ての場所の、全ての人のためです。

その事だけでも、考えてみると、ものすごい事です。

第一ペテロ 2:24-25

- 24 そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。
- 25 あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。

(第一ペテロ 2:24-25)

素晴らしい。

では、ここでイスラエルに戻しましょう。

ヨーロッパは、巨大な墓地となりました。600 万人の、巨大墓地です。

しかし、同盟国が死の強制収容所を解放するために来た時、そこに生存者がいたのです。

そこで発見された生存者たちは、ひどい状態でした。



収容所でのユダヤ人

私は、あの有名な写真を、決して忘れる事が出来ません。その写真の中の生存者たちは、文字どおり、骨と皮だけで、その目には、全く希望がありませんでした。その時、すぐにエゼキエル 37 章が告げていることを思い出しました。

11 …「人の子よ。これらの骨はイスラエルの全家である。…」

全く肉がなく、干からびた骨でした。しかし、彼らは生きています。なぜなら、彼らが言っているのです。

…ああ、彼らは、『私たちの骨は干からび、望みは消えうせ、私たちは断ち切られる。』と言っている。

(エゼキエル 37:11)

彼らは、神が彼らのことをすっかり忘れてしまったと信じていたのです。彼らは断ち切られた、もう希望はない、と信じていたのです。

- 12 それゆえ、預言して彼らに言え。神である主はこう仰せられる。
わたしの民よ。見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。
- 13 わたしの民よ。わたしがあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、わたしが主であることを知ろう。
- 14 わたしがまた、わたしの霊をあなたがたのうちに入れると、あなたがたは生き返る。わたしは、あなたがたをあなたがたの地に住みつかせる。このとき、あなたがたは、主であるわたしがこれを語り、これを成し遂げたことを知ろう。——主の御告げ。——

(エゼキエル 37:12-14)

神は言われます。

「たとえあなたがたが、自分たちの国はもう死んだと思っていなくても、わたしがあの墓場から生き返らせる。」

「たとえ、あなた方が、忘れられたと考えようと、わたしは、あなた方の事を忘れていない。」

「もう希望がないと思えても、希望がある。」

「わたしが、これを成し遂げる。他の誰でもなく。」

「わたしは、世界中が衝撃を受ける形でそれを成し遂げる。」

言っておきますが、ユダヤ人は、歴史上で最も巧妙で、最も記録された大量殺戮を、あらゆる困難に反して、生き残ったのです。ユダヤ人達は、海路、徒歩、空路で、故国に戻りました。あらゆる困難を乗り越えて。ヘブル語は、2000年の後に復活しました。あらゆる困難に反して。これほど長期間死んでいて、またよみがえった言語は、他にありません。

そして国土は、あんなに長い間死んでいた後、繁栄しています。あらゆる困難に反して。

しかしこれは、神の約束には反していないのです。

2日前、「ビジネスインサイダー」というアメリカの雑誌が、2019年3月2日、イスラエルを世界最強の国上位8位にランク付けしました。アメリカ合衆国、ロシア、中国、ドイツ、イギリス、フランス、日本の次です。イスラエルは、ホロコーストの灰から、世界最強の国第8位になりました。アメリカ合衆国、ロシア、中国、ドイツ、イギリス、フランス、日本の次。

私たちの上のこれらの国は全て、人口1億人以上です。私たちは、なんとか900万人に達しました。

私たちの上のこれらの国は全て、今日、どことも、戦争状態にはありません。私たちは、国家誕生の日以来、ずっと戦争状態です。私たちの上のこれらの国は全て、その経済は、私たちの経済の何百倍もの大きさです。

それが、神のされた事を見てください。いいえ。神は、考えを変えておられません。神は、まだ、悪を憎んでおられます。箴言6章は告げています。

16 主の憎むものが六つある。いや、主ご自身の忌みきらうものが七つある。

17 高ぶる目、偽りの舌、罪のない者の血を流す手、

中絶の深刻さを、まだ理解しない人達。

18 邪悪な計画を細工する心、悪へ走るに速い足、

19 まやかしを吹聴する偽りの証人、兄弟の間に争いをひき起こす者。

(箴言 6:16-19)

神は、今もこれらのことを憎まれます。ところで、イスラエルに関して、こちらで締めくくりたいと思います。マラキ書 3:6 です。皆さん、これを覚えていてください。この聖句は、私の人生の聖句です。ご自宅で観ている人も、ここにいる皆さんも、マラキ 3:6 は、こう告げています。

6 主であるわたしは変わることがない。ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。

(マラキ書 3:6)

「あなたがたは、まだ生きている。なぜなら、わたしがここにいるからだ。」

「あなたは、わたしがあそこになかったと思っているが、わたしは、あそこにて、あなたがたが生きるようにした。」

「わたしは、あそこにいたし、まだここにて、あなたがたが、滅ぼし尽くされないようにする。ヤコブの子らよ。」

ですから、私たち全員が理解しなければなりません。イスラエルに対する憎しみには、理由があります。

しかし、全ての始まりは、悪そのものです。人間は皆、有罪です。

イスラエルに関して、神は真実であられます。神は真実であられ、我々はここに帰還し、エルサレムは、私たちのものです。明日、私たちはホロコースト記念館を訪れます。誇り高き、強い国の記念、世界最強国第8位、ホロコーストの灰からよみがえりました。皆さんは、明日それをご覧になります。ご自宅におられる皆さん、神の真実さゆえ、です。

6 主であるわたしは変わることがない。ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。

(マラキ書 3:6)

天のお父様。私たちは、罪のために死んで当然であるにも関わらず、あなたの真実、あなたの愛に感謝します。罪が、私たちの人生のあらゆる面で、個人単位で、また国単位で、この世の人類を苦しめています。

私たちをお赦しください。私たちは、私たちが壊した、この地球を修復出来ると考えます。プライドや高慢さから、あなたに成なり代かわって、自分たちが神になろうとします。

お父様。これから私たちは、さらに多くの悪、さらに多くの痛みをこの世で目にしますが、その中で、あなたが私たちに思い出させてください。あなたが、そこにおられることを。悪は、今もこれからも、決して勝利しないことを。あなたは、それを制限されますが、それが存在することを許されます。

自由意志がなければ、愛は存在し得ませんから。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。

それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

(ヨハネ 3:16)

そしてあなたが全てを新しくされる時、新しいエルサレムでは、もう、涙も、痛みも、悲しみもありません。その時まで、私たちは、あなたが私たちに力をくださると信頼します。痛み、悲しみの中であって、喜べる力を。私たちが弱い時、私たちが強くなれるように。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

このお祈りを、イスラエルの聖なる方、イスラエルを救うために、イスラエルに戻ってこられる方の御名によってお捧げします。しかし、残念ながら、唯一、大患難だけが、イスラエルを救いに導くことも、私たちは知っています。この国のために祈ります。彼らをお救いください。彼らの目が開かれますように。

彼らの妬みを引き起こすために、私たちをお使ってください。そして彼らの目が開かれ、あなたの御言葉の不思議を見ますように。イエスの御名によって。アーメン！

アーメン。

ありがとうございます。God bless you! エルサレムより、シャローム。

2019年3月9日 初回公開

【写真出典一覧】

- ・ 1930年代のナチスのプロパガンダと、2015年11月のデイリーメールの風刺画 : i.imgur.com
- ・ ベルギーの反ユダヤ主義パレード : The New York Times “Jewish Caricatures at Belgian Carnival Set off Charges of Anti-Semitism” March 8, 2019
- ・ 国家独立宣言するダヴィド・ベン＝グリオン : Wikipedia 「ダヴィド・ベン＝グリオン」
- ・ 収容所でのユダヤ人の写真 : Behold Israel 大阪講演「エゼキエルの時」2018.7.18



▶ スマートフォンなどのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube で見られます。
◀ リンク先 : <https://youtu.be/Iq4leGZNMU4> ▶



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel

<https://beholdisrael.org>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル ▶

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

